

2021(令和3)年9月16日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ロームシアター京都レパトリー作品『ショールームダミーズ #4』パリ公演
公演費調達のためのクラウドファンディング実施について



Showroomdummies #4



ロームシアター京都では、時代を超えて末永く上演される劇場のレパトリー演目を製作することを念頭に、毎年度「レパトリーの創造」を実施しています。2019年度にこのシリーズとして製作され、翌年2月にロームシアター京都で初演された「ショールームダミーズ #4」は、フランス人アーティスト・ジゼル・ヴィエンヌとエティエンヌ・ビドー＝レイが、日本人出演者と共に創りあげた作品です。現在、「ショールームダミーズ #4」が、ヨーロッパでも最も重要な舞台芸術フェスティバルのひとつ、フランスのフェスティバル・ドートンヌ・ア・パリからの招聘を受けており、今年11月にパリのポンピドゥー・センターで上演を予定しています。実現すれば、ロームシアター京都のレパトリー作品としては初の海外公演となり、作品創造に取り組む日本の公立劇場にとっても大きな一歩と言えます。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、内定しておりました海外での舞台芸術公演を支援する助成金を取り消しとなる見込みとなってしまいました。渡航する国の新型コロナウイルス感染状況が改善されることが条件としてあり、現時点ではその条件をクリアすることができないためです。

さらに、感染対策にかかる間接的・直接的な費用も増え、予算規模は当初の予定を超えて膨れ上がっているのが現状です。その中には、日本帰国後の隔離期間の補償など、これまでの海外公演では想定されえなかった経費も含まれます。

そこで今回、公演実現の資金を募るため、ロームシアター京都はクラウドファンディングに挑戦することにしました。この挑戦は、資金を集めることはもちろんのこと、活動に賛同してくださる方々の声を集める挑戦でもあります。ぜひご注目いただき、貴媒体にてご紹介いただければ幸いです。

クラウドファンディングプロジェクトページはこちら(ReadyFor内) [👉](#)

「ロームシアター京都で創作したダンス作品のパリ公演にご支援を」

支援募集期間:2021年9月15日(水)17:00~10月6日(水)23:00

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

【クラウドファンディング実施概要】

■目標金額：200万円

■実施方法：ReadyFor <https://readyfor.jp/> が運営するクラウドファンディングサービスを利用
URL：<https://readyfor.jp/projects/srd4>

■期間：2021年9月15日(水)17:00～10月6日(水)23:00

■形態：「All or Nothing」型＝最終的に集まった金額が目標額に達しない場合、支援を受取ることが出来ません。

「寄付型」＝受け取り者である公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団への寄付金とみなされ、支援者は控除を受けることが出来ます。(個人、法人とも)。

■支援コース：5,000円、1万円、3万円、5万円、10万円、30万円の6コース(複数口可)
コースごとに、以下のような特典を設けています。

- ・ロームシアター京都ウェブサイト内公演ページへのご芳名掲載
- ・お礼メッセージ(公演写真付き)
- ・報告会へのご招待
- ・パリ公演パンフレット
- ・フェスティバル・パンフレット
- ・フェスティバル公式グッズ(非売品)
- ・ロームシアター京都特別ガイドツアー

【「ショールームダミーズ#4」について】

「レパトリーの創造」の一環として、2019年度に二人のフランス人アーティスト、ジゼル・ヴィエンヌとエティエンヌ・ビドー＝レイと共に創った作品が『ショールームダミーズ #4』です。

2001年に最初の作品が発表された「ショールームダミーズ」シリーズは、マゾッホの小説『毛皮を着たヴィーナス』をモチーフに、ヴィエンヌとビドー＝レイが自ら製作したマネキン人形と生身のダンサーを舞台空間に共存させ、生と死、現実と虚構、欲望と破滅などをめぐる多くの問いを発してきました。

シリーズ第4作目となる『ショールームダミーズ #4』は、約1年にわたる創作を経て、2020年2月にロームシアター京都で初演を迎えました。6人のキャストが全員女性、さらにその内の5人を京都でのオーディションで選んだということが注目を集め、高い評価を受けました。

[ロームシアター京都初演\(2020年2月\)特設サイト](#)



ロームシアター京都初演(2020年2月)より ©Yuki Moriya

【フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ 公演詳細】

日程：2021年11月11日(木)～11月14日(日)

会場：ポンピドゥー・センター(フランス・パリ)

演出・振付・舞台美術 | ジゼル・ヴィエンヌ、エティエンヌ・ビドー＝レイ

出演 | 朝倉千恵子、大石紗基子、高瀬瑠子、花島令、藤田彩佳、堀内恵

音楽 | ピーター・レーバーク

照明 | アルノー・ラヴィッセ、パトリック・リウー

振付・演出アシスタント | 仁田晶凱

[フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ 公式サイト](#)

【ロームシアター京都からのご挨拶】

橋本裕介(プロデューサー)



「Showroomdummies #4」はロームシアター京都のレパートリー作品です。2020年2月の初演を経て、早速再演の機会を得ることができました。これは京都とフランスおよびパリとの長きにわたる芸術交流の成果の一つです。

演出家のひとりジゼル・ヴィエンヌは、2007年にフランス文化芸術機関「ヴィラ九条山」のレジデント・アーティストとして来日し、私を含む多くの日本の京都の芸術関係者と関係を構築しました。その後十数年にわたる協働を通じて立ち上がったのが本作品だと言えます。

そして今回参加するフェスティバル・ドートンヌ・ア・パリは、ヨーロッパの芸術界においても最も重要なフェスティバルの一つで、ロームシアター

京都を拠点に開催してきた舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT とは、ジゼル・ヴィエンヌを含む数々のアーティストの新作を共同製作してきた、京都との結びつきの深いフェスティバルです。さらに今年で50回目を迎えるこのフェスティバルは、現芸術監督マリー・コランの最後のプログラムであると同時に、ジゼル・ヴィエンヌの作品を特集するというプログラムになっており、本作品が欠かせない要素の一つであることは間違いありません。そしてまた、本作品がさらに世界で紹介され、再演し続けていけるきっかけになることも大いに期待できます。

新型コロナウイルス感染症によって世界は大きく影響を受け、社会活動、経済活動は言うに及ばず、医療面においても様々な困難を抱えながら私たちは生きています。そしてまた、このような感染症による影響は、「移動の制限」という形をとって、私たちのこれまでの考え方を根本的に見直すことも促しています。今後このコロナ禍を経て行われる、身体を伴った人の移動は、単に情報の交換と言った意味での交流を超えて、新しい意味を持つてくることになるでしょう。

今回のツアーは、そのような時代の変化の渦中であって、安全を期すための様々な制約を乗り越えながら実現させようとしています。このチャレンジを実行するアーティストたちは、作品の紹介のみならず、私たちに代わって新しい時代における移動や交流の実践を行うフロンティアです。どうか今回のツアーメンバーが安全に渡航し、そして現地の観客に深い感動を与え精神的な交流が育まれるよう、ご支援をよろしくお願い致します。

小倉由佳子(プログラム・ディレクター)



新型コロナウイルス感染症によって、多くの舞台公演が中止、縮小、変更
に追い込まれ、多くのものが失われていこうとしている今、私たちにとって、
この「ショールームダミーズ #4」のパリ公演は、ある意味、一縷の望みで
す。2016年のリニューアルオープン以来、文化芸術の創造・発信拠点と
なるべく奮闘するなかで、2020年度に初めて海外の演出家を迎え、京
都でのオーディションによって選ばれたダンサー達と作った舞台です。歴史
あるフランスのフェスティバルに、この「ロームシアター京都のプロダクショ
ン」がラインアップされることは、大きな誇りであり希望です。フランスと日本
のアーティストの深い「交流」によって誕生した本作の潜在能力は、このパ
リ公演を経て、さらに発揮されると確信しております。

公共劇場が、クラウドファンディングで資金獲得を行う例はまだ多くありません。ロームシアター京
都にとっても、初めての試みになります。この挑戦は、ある面では、私たちの置かれている厳しい状況
を詳らかにするものです。これまで、劇場は質の高い作品鑑賞の機会を提供し、それを開かれた形
で上演し、議論を促すことが舞台芸術の公共性の核であり、皆様がチケットを購入し、足を運んでく
ださることが最大の支援だと考えていました。今回のご支援の願いは、それとは違う新しい関係の
結び方になります。移動が制限され、同じ空間で体感し、意見交換することが困難な現状、そして、
コロナ渦を経てますます財政的に厳しくなるだろう今後を考える機会でもあると捉え、今回のアクション
についても何らかの形で皆様と共有し、未来に活かしていきます。

どうかこの営みが絶えることなく、さらに新しい可能性を生み出すチャンスにするために、そして、な
によりツアーメンバーが安全・安心な環境で本番を迎えられるように、皆様のご支援を賜りますよう
何卒お願い申し上げます。